

広川町商工会 経営発達支援計画
平成 30 年度 事業評価報告書

平成 31 年 3 月 31 日

目次

広川町商工会経営発達支援計画概要	…P 3
-------------------------	------

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関する事	…P 4
2. 経営状況の分析に関する事	…P 6
3. 事業計画策定支援に関する事	…P 8
4. 事業計画策定後の実施支援に関する事	…P 11
5. 需要動向調査に関する事	…P 15
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	…P 17

II. 地域経済の活性化に資する取組

1. 地域経済活性化事業	…P 20
--------------	-------

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換	…P 21
2. 経営指導員等の資質向上等に関する事	…P 22
3. 事業評価及び見直しをするための仕組みに関する事	…P 23

1. 広川町商工会の掲げる経営発達支援事業の目標

- (1) 経営計画策定による経営力の強化を行い販路開拓支援へとシフトすることで、事業者の売上及び利益の確保を目的とした支援強化を実施する。
- (2) 新たな商品開発を支援し、販路開拓を支援する。
特に、地域資源を活用した商品や久留米餅など技術的な付加価値の高い製品については、消費者需要に沿った商品ブラッシュアップ支援を行い、国内外に向けた販路拡大するための支援を実施する。
- (3) 新たな創業を増やし、地域の経済活性化を図る。
- (4) 実施にあたり広川町をはじめとした関係機関との連携強化を図る。

2. 目標達成のための基本方針

(1) 地域を支える小規模事業者の経営力強化		実施項目		
①	巡回、窓口指導及びセミナーの開催によって事業者の実態を把握し、事業計画策定についての啓発を図ることによって策定する事業者を掘り起こす。	地域経済動向調査	経営状況分析	需要動向調査
②	策定にあたって専門的な課題については専門家と共に徹底したサポートを実施する。	事業計画策定支援		
③	策定後の事業実施に当たっては、伴走型支援によって事業者の持続的発展を図る。	実行支援	需要開拓支援	経営状況分析

(2) 創業支援による新たな事業者育成		実施項目		
①	創業塾を開催し、創業にかかる事業計画の作成支援を実施する。	地域経済動向調査	需要動向調査	事業計画策定支援
②	創業支援のためのインキュベーター室及び創業者同志の協業施設を設置し、的確なビジネスプランの策定から進捗状況に合わせた適切な情報提供及びPDCAによる計画の見直しを図りながら、数年間にわたり継続して支援を実施し、事業を軌道に乗せることを目標とする。	実行支援	需要開拓支援	経営状況分析

(3) 地域資源を活用した地域ブランド化		実施項目		
①	久留米餅を始めとする地域資源を活用して商品開発をする事業者を支援する。	事業計画策定支援	需要動向調査	需要開拓支援
②	「広川かすり祭」や「ひろかわ藍彩市場誕生祭」など四季を通じて開催するイベントによって顧客ニーズの調査を行い、商品開発の基礎情報として事業所への情報提供を行う。	需要動向調査		
③	開発された商品に対しては、ネットワークを活用して商品のブラッシュアップ支援を実施する。	経営状況分析	需要動向調査	需要開拓支援
④	テストマーケティングの場として広川町産業展示会館の特産品売場「ひろかわ藍彩市場」を活用する。	需要開拓支援		
⑤	久留米餅を中心とする特産品の大都市圏出店の調査研究を実施する。	事業計画策定支援	需要動向調査	需要開拓支援

(4) 販売促進、Webサイトによる販路開拓		実施項目		
①	サイトを持たない事業者及び効果が得られていない事業者に対し、サイト構築のノウハウを支援する。	経営状況分析	需要動向調査	需要開拓支援
②	IT活用による販売促進を支援し、売上獲得の達成を目標とする。	経営状況分析	需要動向調査	需要開拓支援

(5) 商工会の内部環境の整備と効果的な支援体制の構築				
①	地域ブランド化や観光事業について広川町商工会職員と「ひろかわ藍彩市場」の職員の連携体制を作る。			
②	他の支援機関、専門家、行政と連携し効果的な支援体制の構築を図る。			
③	週1回の朝礼および職員ミーティング、月1回の勉強会によって情報の共有と支援能力向上を図る。			

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること

(取り組み概要)

現状では、福岡県商工会連合会が実施する「中小企業景況調査」において情報を収集するにとどまっておろ、その分析、把握と情報の共有が行われていなかった。また、小規模事業者への情報提供も窓口相談時などの限定的なものとなっていた。今後は、広域的地域の経済動向情報として全国的データから県内および広川町近隣地区そして町内の経済動向について網羅的に行政・金融機関等の調査による情報を収集・分析・整理し、地域・業種別の課題を把握した上で、小規模事業者の事業計画策定に活用する。

(平成 29 年度の事業評価結果)

評価	A : 実施され効果（活用）が見られた、もしくは期待できる
助言	・リアルタイムな情報提供の仕方を取り入れることも今後期待したい。 ・目標達成のため、伴走支援ニュースに記載するなど工夫していきたいところである。
改善点	・ホームページにより、より広い小規模事業者へリアルタイムな情報発信を行う。 ・情報定期便の発行頻度を上げ、活きた情報を提供する

(平成 30 年度の具体的な取り組み)

- ① 下記資料を基に広域的な地域経済動向の調査分析を行った。
 - ・日本政策金融公庫が四半期ごとに提供する「中小企業景況調査」
 - ・福岡県商工会連合会が四半期ごとに実施する「景気・金融・雇用動向調査」
 - ・全国商工会連合会が毎月提供する「小規模企業景気動向調査」
 - ・筑邦銀行が四半期ごとに提供する「ちくぎん地域経済レポート」

- ② 下記の通り、関係団体との協議会を開催し広川町近隣エリアである筑後地区、八女地区の金融動向や金融機関へのヒアリング調査によって情報収集し、分析を実施した。
 - ◆ 日本政策金融公庫との情報交換会議 2 回
 - ・平成 30 年度ミニマル経協議会 平成 30 年 4 月 16 日（月）開催（八女ブロック）
 - ・平成 30 年度マル経協議会 平成 30 年 10 月 26 日（金）開催（筑後地区）

 - ◆ 広川町中小企業融資制度推進会議 2 回
 - ・第 1 回広川町中小企業融資制度推進会議 平成 30 年 12 月 19 日（木）
 - ・第 2 回広川町中小企業融資制度推進会議 平成 31 年 2 月 4 日（月）

③上記分析した結果を次の手法により広く小規模事業者へ情報発信を行った。

- ・ホームページ掲載数 11回
- ・情報定期便の発行数 5回

(目標と実績)

内 容	H29 実績	H30 目標	現状	H31 目標	H32 目標	H33 目標
ホームページによる 情報提供回数	11	8	11	10	12	12
広報誌による 情報提供回数	2	4	5	4	4	4
金融機関等との 情報交換会議の開催	3	3	3	3	3	3

【判定】

- ・A：実施され効果（活用）が見られたもの、もしくは期待できるもの
- ・B：実施されたが効果（活用）が見られないもの、もしくは不明のもの
- ・C：実施されなかった、もしくは実施されたが回数等が大幅に目標を下回っているもの

【評価】

2. 経営状況の分析に関すること

(実施の概要)

企業が持続的な経営を継続するためには、経営者が企業の置かれている現状を正しく理解することが必要です。そのためには、市場の変化、競合の有無などといった外部環境から、自社で保有する技術・ノウハウ、財務状況といった内部要因まで様々な要素を把握する必要があります。今後は持続的発展に資するために、経営分析シートを使用し、小規模事業者の実態把握を実施します。経営分析により経営課題を抽出し、経営計画策定へとつなげます。

(平成 29 年度の事業評価結果)

評価	A : 実施され効果（活用）が見られた、もしくは期待できる
助言	・ローカルベンチマークに限らず簡易分析についても実績値にあげてよい ・経営分析事業所数は事業計画策定数よりも多いことが求められている ・事業計画を立てる際には経営分析がされていることからこれらの数も加えてよいと言える
改善点	・ローカルベンチマーク（財務分析）だけでなく定量分析についてもカウントする ・事業計画策定支援時に SWOT 分析を含む経営分析を実施しておりカウントする

(平成 30 年度の具体的な取り組み)

① 定量分析の実施

- ◆ローカルベンチマークを利用した財務分析 8 事業者
(活用の方法) 事業計画策定の基礎資料として活用した

② 定性分析の実施

- ◆SWOT 分析 43 事業者
(内訳) 経営革新 9・持補助 16・もの補助 4・八女市 1・広川町 3・チャレンジ 1・事業承継 1・地域資源 1・先端設備 6・JAPAN ブランド 1
(活用の方法) 自社の強みと弱みの把握と外部環境の変化への対応を事業計画に落とし込み、実現性の高い計画策定に繋がった

- ◆よかもんフェア出展者評価実施 1 事業者
(活用の方法) 専門家による商品やブース総合評価を基にブース演出改善に繋がった

(目標と実績)

内 容	H29 実績	H30 目標	現状	H31 目標	H32 目標	H33 目標
経営分析事業者数	25	25	52	28	30	30

(判定)

- ・ A : 実施され効果（活用）が見られたもの、もしくは期待できるもの
- ・ B : 実施されたが効果（活用）が見られないもの、もしくは不明のもの
- ・ C : 実施されなかった、もしくは実施されたが回数等が大幅に目標を下回っているもの

(評価)

3. 事業計画策定支援に関すること

(実施の概要)

経営者は時代の要求を認識し自社を正當に評価することが必要であり、経営環境の変化に対応するためには、経営分析により課題の早期発見と外部環境や内部環境としての自社の経営資源を徹底的に棚卸して、強みを活かした経営計画を立てることが必要である。今後は、小規模事業者の経営課題を解決するために、1. 地域動向調査、2. 経営状況分析、5. 需要動向調査の結果を踏まえ、需要を見据えた事業計画策定を支援し、事業者の持続的発展に資することを目標とする。

(平成 29 年度の事業評価結果)

評 価	A : 実施され効果（活用）が見られた、もしくは期待できる
助 言	・積極的な取組が見られ、目標数値を大きく上回り評価できる
改善点	・特になし

(平成 30 年度の具体的な取り組み)

①小規模事業者等に対する事業計画実行支援 42 事業者

(内 訳)

・経営革新計画策定に係る経営計画	9 事業者
・持続化補助金に係る経営計画	16 事業者
・ものづくり補助金に係る経営計画	4 事業者
・先端設備導入計画	6 事業者
・経営力向上計画	2 事業者
・事業承継補助金に係る事業計画	1 事業者
・地域中小企業チャレンジ応援補助金にかかる事業計画	1 事業者
・広川町小規模事業者支援対策事業計画	1 事業者
・八女市新事業展開補助金に係る事業計画	1 事業者
・JAPAN ブランド育成支援事業計画	1 事業者

(集団講習会)

開催日	名称	資格	氏名	人数
4月16日	持続化補助金セミナー	中小企業診断士	丈下博美	6
8月27日	事業承継セミナー	中小企業診断士 税理士	井上哲也 三小田昭生	8
11月7日	持続化補助金書き方説明会	中小企業診断士	丈下博美	8

(個別相談会)

開催日	名称	資格	氏名	人数
4月23・26日	事業計画策定個別相談会	中小企業診断士	工藤芳純 丈下博美	6
5月8日	事業計画策定個別相談会	中小企業診断士	井上哲也	3
9月26日	持続化補助金策定個別相談会	中小企業診断士	丈下博美	5
10月24日	持続化補助金策定個別相談会	中小企業診断士	丈下博美	4
12月17・26日	持続化補助金策定個別相談会	中小企業診断士	丈下博美	6

②創業予定者に対して基礎的経営知識の習得を目指した創業塾の開催と計画策定を支援した。

◆「創業塾 in 広川」の開催

開催日	名称	資格	氏名	人数
12月8日	創業塾 in 広川 (1日目)	中小企業診断士	田中桂二・宮川譲	4
12月9日	創業塾 in 広川 (2日目)	中小企業診断士	田中桂二・宮川譲	4

◆創業計画書の策定支援 9者

- ・創業塾における創業計画書 5者
- ・広川町新規創業計画書 2者
- ・新規創業融資に係る創業計画書 2者

- ③地域資源を活用した商品開発を行う事業者に対して、「広川食のブランディング事業」を立ち上げ、消費者動向調査を実施しその分析結果を活かした経営計画策定を支援した。

◀食のブランディング事業における伴走型支援の位置づけ▶

広川町の特産品を活かした商品開発を行うに当たり、参画事業者に対し、ターゲット設定から商品企画・価格設定・テストマーケティング等の支援を実施する。テストマーケティングの場として、「広川まつり」「秋の収穫祭」「ひろかわ苺まつり」を指定し、それに合わせた季節のメニューや商品開発を行う。藍彩市場の来場者を対象とした消費者ニーズ調査を実施し、その分析結果を基に商品開発を手掛けることで、需要に応じた商品を目指す。

◆新商品計画書策定支援 5 事業者

(目標と実績)

事業内容	H29実績	H30目標	H30実績	H31目標	H32目標	H33目標
事業計画策定者数(①+③)	25	18	47	20	22	22
創業計画策定者数(②)	2	2	9	2	2	2

(判定)

- ・A：実施され効果（活用）が見られたもの、もしくは期待できるもの
- ・B：実施されたが効果（活用）が見られないもの、もしくは不明のもの
- ・C：実施されなかった、もしくは実施されたが回数等が大幅に目標を下回っているもの

(評価)

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

(実施の概要)

経営計画策定後も継続して定期的なフォローアップを行うことにより、経営計画を完遂し、事業者の売上げ、利益が確保出来るよう強力な伴走支援を実施する。特に創業者については、町と連携をし、商工会館にインキュベート室を設置し無償提供(半年)することにより、創業者は随時商工会の経営支援を受けることができる体制を構築し、創業を強力にバックアップする取り組みを行う。

(平成 29 年度の事業評価結果)

評価	A：実施され効果（活用）が見られた、もしくは期待できる
助言	・実行後の売上拡大に繋がることが求められており今後の支援が期待される
改善点	・特になし

(平成 30 年度の具体的な取り組み)

①事業計画を策定した事業所に対し、専門家及び経営指導員等で策定した事業計画の実現性を図るためフォローアップおこなった。また、事業所毎の課題に幅広く対応するため講習会を開催し、専門的課題に対しては、専門家を招集し適切な助言を行い課題解決に導くよう支援した。

◆事業計画毎の実行支援フォローアップ支援者数 29 事業者

(内 訳)

・経営革新計画実行に係るフォローアップ	9 事業者
・持続化補助事業実行に係るフォローアップ	14 事業者
・ものづくり補助事業実行に係るフォローアップ	1 事業者
・先端設備導入計画実行に係るフォローアップ	1 事業者
・経営力向上計画実行に係るフォローアップ	1 事業者
・事業承継補助事業実行に係るフォローアップ	1 事業者
・地域中小企業チャレンジ応援補助事業実行に係るフォローアップ	1 事業者
・広川町小規模事業者支援対策事業実行に係るフォローアップ	1 事業者

(集団講習会)

開催日	名称	資格	氏名	人数/事業者数
5月15日	従業員接遇研修	マナー講師	野村ひとみ	10人(4者)
9月25日	ビジネスマナー講習会	人材コンサルタント	植村恵美	12人(10者)
12月19日	軽減税率対策セミナー	八女税務署	税務署員	20人(12者)
2月6日	「働き方改革」対応セミナー	社会保険労務士	立野善史	20人(14者)

(専門的課題に対する専門家派遣)

支援内容	資格	氏名	事業者数
計画進捗管理	中小企業診断士	新飼賢郎	1
海外展開	コンサルタント	堺 武志	3
生産管理	中小企業診断士	藤原順一	1
事業承継	税理士	三小田明生	2
	中小企業診断士	岡本健一	2
	行政書士・診断士	高橋衛	1
商品開発	デザイナー	高口知子	5
社員教育	接遇講師	野村ひとみ	1
労務管理	社会保険労務士	福田久徳	2
債権回収	弁護士	角倉 潔	1
経営改善	中小企業診断士	林幸一郎	2

②創業者については、特にフォローアップを強化し相談対応に取り組んだ。また、当館 2 階の創業インキュベーション室（半年室料無料）の提供を行った。H31 年 4 月から入居のため、今後税務・労務・金融その他経営全般にかかる支援を行う。

- ・創業塾における創業計画実行に係るフォローアップ 2 事業者
- ・広川町新規創業計画実行に係るフォローアップ 2 事業者
- ・新規創業融資に係る創業計画実行に係るフォローアップ 2 事業者

◆創業後フォローアップ講習

開催日	名称	資格	氏名	人数
1月7日	創業塾 in 広川（補講）	中小企業診断士	田中桂二・宮川譲	4

◆インキュベート室提供 1事業所（H31年4月より入居開始）

③地域資源を活用した新商品開発を行う事業所に対しては、専門家及び経営指導員等で策定した事業計画の実現性を図るためフォローアップを行った。

◆商品開発個別相談会の開催

開催日	名称	資格	氏名	事業者数
9月20日	商品開発個別相談会	デザイナー 6次化アドバイザー	高口知子 古賀宏宣	5
10月17日	商品開発個別相談会	デザイナー 6次化アドバイザー	高口知子 古賀宏宣	5
11月8日	商品開発個別相談会	デザイナー 6次化アドバイザー	高口知子 古賀宏宣	5
12月4日	商品開発個別相談会	デザイナー 6次化アドバイザー	高口知子 古賀宏宣	5
1月16日	商品開発個別相談会	デザイナー 6次化アドバイザー	高口知子 古賀宏宣	5
2月20日	商品開発個別相談会	デザイナー 6次化アドバイザー	高口知子 古賀宏宣	5

④事業計画に取り組むにあたって資金需要に対しては、日本政策金融公庫「小規模事業者経営発達支援融資制度」を活用し、事業の進捗確認、予実管理を行うなど、きめの細かいフォローアップ支援を行った。

◆事業実行に係る資金需要対応 5者（マル経3者、新規開業融資2者）

(目標と実績)

事業内容	H29実績	H30目標	H30実績	H31目標	H32目標	H33目標
フォローアップ支援者数	30	20	46	22	24	24

(判定)

- ・A：実施され効果（活用）が見られたもの、もしくは期待できるもの
- ・B：実施されたが効果（活用）が見られないもの、もしくは不明のもの
- ・C：実施されなかった、もしくは実施されたが回数等が大幅に目標を下回っているもの

(評価)

5. 需要動向調査に関すること

(実施の概要)

現状は、相談内容によって必要がある場合を除き、需要動向調査はほとんど実施してなかった。また、調査した場合についても調査結果をそのまま使用するのみで、消費者ニーズの抽出や消費行動の分析など売上拡大につながる分析に繋がっていなかった。今後、地域資源を対象とした消費者動向調査や、アクセス解析による消費者行動や消費者動向の調査を実施し、潜在的消費者ニーズの把握、分析結果を整理し、有効な情報として小規模事業者を提供することによって売上及び収益の増加を図る。

(平成 29 年度の事業評価結果)

評価	A：実施され効果（活用）が見られた、もしくは期待できる
助言	・提供したデータなど成果物を資料として提示してほしい ・フィードバックした後の事業者の改善策などを盛り込むと成果として評価しやすい ・消費者ニーズ調査を実施しその結果を新商品開発に活かしてほしい
改善点	・分析結果を基に取り組んだ事例を実績報告に盛り込むよう改善を図る ・観光客を対象とした消費動向調査を実施し商品開発に活用する

(平成 30 年度の具体的な取り組み)

① 藍彩市場の購入者を対象にした消費動向調査

◆ POS データ情報を分析し販売委託事業者に提供 13 事業者

「ひろかわ藍彩市場」POS レジデータの分析を行い、今後の消費者の需要動向の予測について分析を実施した。重ねてお客様からのヒアリングにより消費者ニーズ調査を実施した。

活用例：製茶業 A 社は、食品に対する客単価が 1000 円未満であるデータ結果に着目し小袋化に取り組み、他社との差別化を図った。

② Google アナリティクス・マイビジネスによるアクセス解析支援 9 事業者

IT 活用個別相談会を開催し、Google アナリティクスやマイビジネス、SNS のセミナーを開催し解析の手法について理解を深めた。実地での IT 活用、設定指導を実施した。また、新規にホームページの制作者について Google アナリティクス解析が出来るように、専門家を活用し自社サイトを分析、キーワードの設定や記事の投稿についても改善を実施した。

開催日	内容	資格	専門家名	人数
10月2日	IT 活用個別相談会	ウェブコンサルタント	古堀俊行	2
11月6日	IT 活用個別相談会	ウェブコンサルタント	古堀俊行	2
11月9日	IT 活用個別相談会	ウェブコンサルタント	古堀俊行	2
12月5日	IT 活用個別相談会	ウェブコンサルタント	古堀俊行	3

活用例：美容業 B 社は、ホームページのリニューアルを検討。Google アナリティクスにより、検索エンジン google においてどの圏内の消費者がどのようなワードで検索されているか分析を行い、ヒットしやすいワードをホームページに多用した。その結果、アクセス数、問合せ数を伸ばすことに繋がった。

③観光客を対象にした需要動向調査の提供 5 事業者

◆「広川食のブランディング事業」において観光客を対象に広川町の観光需要に関するアンケート調査を実施した。その結果を事務局にて分析加工し、事業参画事業者へ提供した。

活用例：「広川町」のイメージは近郊住民には「フルーツの里」「久留米糍」「あまおう」で通っているが、遠方からの観光客には想定以上に浸透していないことが判った。そこで「ひろかわ苺まつり」を藍彩市場で開催し、周知に取り組むこととなった。事業の参画事業者 5 事業者は、あまおうを使った新商品開発に取り組み、地域資源活用による自社の売上アップに取り組んだ。

(目標と実績)

事業内容	H29実績	H30目標	H30実績	H31目標	H32目標	H33目標
POS データ 情報提供事業所数①	13	13	13	15	18	20
アナリティクス分析 支援事業者数②	10	20	9	30	40	50

※ ③については目標設定にない事業のため報告のみ

(判定)

- ・ A：実施され効果（活用）が見られたもの、もしくは期待できるもの
- ・ B：実施されたが効果（活用）が見られないもの、もしくは不明のもの
- ・ C：実施されなかった、もしくは実施されたが回数等が大幅に目標を下回っているもの

(評価)

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

(実施の概要)

現状は、「ひろかわ藍彩市場」への出展および、福岡県商工会連合会主催の商談会出展支援を行ってきた。また、これまでの取り組みにより、ホームページを保有する事業者は増えては来たが、ほとんどの事業所がショッピング機能を持った Web 構築には至っていない。今後は、将来的に訪れる人口減少を見据え売上減少を回避するために新たな顧客や販路の開拓を支援し、小規模事業者の持続的発展に資することを目標とする。

(平成 29 年度の事業評価結果)

評価	A：実施され効果（活用）が見られた、もしくは期待できる
助言	・1 年目で実績が出ていることは評価できる ・Web 販促に偏っており商談会などの出展支援も検討の余地がある
改善点	・商談会等出展支援にも取り組んだ

(平成 30 年度の具体的な取り組み)

①商談会等出展希望事業者に対しては、福岡県商工会連合会が実施する商談会・展示会出展案内直接配信制度の活用を図った。

◆出展案内直接配信制度の登録事業所数 5 者（新規 1 既存 4）

②地域資源を活用して商品開発をする事業者に対しては、商品のブラッシュアップ支援を行った。また商品の販路開拓の場として、広川町産業展示会館の特産品売場「ひろかわ藍彩市場」の活用を支援した。

◆商品ブラッシュアップ支援者 1 者 売上高 100(千円)

◆「食のブランディング事業」にてテストマーケティングの場として「秋の収穫祭」「ひろかわ莓まつり」を企画し、出展支援を行った。 5 者 売上高 360(千円)

③Web 構築サイトの構築支援者 8 者

◆会員 web 制作事業所と連携し、WordPress を活用し低価格でサイトを構築する「販促 WEB 構築支援」を実施 2 者

◆持続化補助金を活用した HP 構築支援 6 者

④商談会等出展支援者 12 者

◆独自主催及び県連主催による商談会出展 8 者

時期	商談会等名	開催地	支援者数	成約数/売上高
8月	アグリフード EXPO	東京	1	7 件
8月	NY NOW2018	アメリカ	1	4 件
10月	福岡県よかもんフェア	福岡	1	100 千円
10月	FOODEXPOKYUSYU2018	福岡	1	1 件
11月	ニッポン全国物産展	東京	2	530 千円
1月	銀座ベルハウスとの個別商談会	商工会	2	1 件
2月	スーパーマーケットトレードショー2019	東京	1	5 件

◆持続化補助金活用による出展 4 者

時期	商談会等名	開催地	支援者数
9月	通販食品展示商談会	東京	1 件
8月	インターナショナルギフトショー大阪	大阪	3 件
9月	インターナショナルギフトショー東京	東京	5 件
10月	FOOD JAPAN2018	シンガポール	10 件

⑤福岡デザインアワード出展支援 1 者（入選）

(目標と実績)

事業内容	H29実績	H30目標	H30実績	H31目標	H32目標	H33目標
出展案内配信制度 活用事業所数①	4	5	5	5	7	7
ブラッシュアップ支援者の売上高(千円) (テストマーケティング、イベント出展) ②	300	150	460	200	250	300
Web 作成事業者数③	5	7	8	7	10	10

※ ④⑤については目標設定にない事業のため報告のみ

(判定)

- ・A：実施され効果（活用）が見られたもの、もしくは期待できるもの
- ・B：実施されたが効果（活用）が見られないもの、もしくは不明のもの
- ・C：実施されなかった、もしくは実施されたが回数等が大幅に目標を下回っているもの

(評価)

II. 地域経済の活性化に資する取組

1. 地域経済活性化事業

(実施の概要)

一過性の「地域活性化＝観光振興、にぎわいづくり」に終始せず、交流人口の拡大や地域の消費喚起につながる地域活性化に関連団体等と連携し取り組む。

(平成 30 年度の具体的な取り組み)

日時	イベント名	場所	主催	連携先
4月28日-5月6日	里カフェまち子のおやつオープンイベント	広川町産業展示会館	ひろかわ藍彩市場	広川町 福岡県
4月28日-5月6日	春のかすり祭	広川町産業展示会館	ひろかわ藍彩市場	広川町 観光協会
9月8-9日	秋のかすり祭	広川町産業展示会館	ひろかわ藍彩市場	広川町 観光協会
10月20-21日	広川まつり	広川中学校西グラウンド	まつり実行委員会	広川町
11月17-18日 &23-25日	太原のイチョウ巡り	広川町産業展示会館	広川町観光協会	広川町
3月2-3日	ひろかわ苺まつり	広川町産業展示会館	ひろかわ藍彩市場	

里カフェまち子のおやつオープンイベント



Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上の取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

他の支援機関との情報交換を積極的に行い、個人の支援ノウハウ・知識を職員間で共有し小規模事業者の持続的発展を支援する。

(平成 30 年度の具体的な取り組み)

- ①金融機関との情報交換会において、金融・創業支援等に関するノウハウを情報交換し、支援能力の向上に努めた。
 - ・経営改善貸付推進団体連絡協議会（八女ブロック）：平成 30 年 4 月 16 日（月）
 - ・経営改善貸付推進団体連絡協議会（筑後地区）：平成 30 年 10 月 26 日（金）
 - ・福岡県保証協会との懇談会：平成 30 年 11 月 9 日(金)
 - ・広川町中小企業融資制度推進会議：平成 30 年 11 月 29 日（木）

- ②筑後地域中小企業支援協議会において筑後地区の商工会や他の支援機関との経営指導のノウハウを情報交換することによって支援スキルの向上に努めた。また、支援機関からの専門家派遣時にも同行して支援ノウハウを修得しながら支援スキルの向上に努めた。
 - ・第 1 回筑後地域中小企業支援協議会総会：平成 30 年 4 月 25 日（水）
 - ・第 2 回筑後地域中小企業支援協議会総会：平成 30 年 11 月 13 日（火）
 - ・第 1 回経営支援モデル企業巡回ヒアリング：平成 30 年 5 月 1 日(火)
 - ・第 2 回経営支援モデル企業巡回ヒアリング：平成 30 年 9 月 25 日(火)

- ③八女地区の商工会・商工会議所及び税務署・税理士との情報交換会を実施し、税務相談に関するノウハウ及び支援能力の向上に努めた。
 - ・八女地区商工会連合会税務連絡協議会 平成 30 年 5 月 10 日(木)
 - ・八女地区税務懇談会 平成 30 年 11 月 2 日(金)

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

小規模事業者の経営支援のための幅広い知識の習得を図り、そのノウハウや事業者の状況分析結果等を共有することによって経営指導員等の資質向上を図る。

(平成 30 年度の具体的な取り組み)

①当会の職員は若手が多いため、経営支援について職員間で情報を密に共有することで、指導・助言内容、情報収集方法を学ぶなど、支援能力の向上を図っている。

◆朝礼ミーティングの実施

毎朝 30 分の全体ミーティングを実施。毎日の各職員の業務の進捗状況の確認を行う。事業者への対応に係る助言アドバイスなど意見交換することで組織内の経営支援の活性化を図っている。

◆経営支援会議の開催（不定期開催）

事業全体の進捗状況の確認・予算執行状況等の確認を行い、全体の業務のバランス調整を図っている。

◆融資斡旋に係る事前連絡会議

局長と指導員で構成。事業者からの金融相談の都度、会議を開き、財務内容や資金用途などの状況により、どの様な斡旋を勧めるかを検討する会議を行っており、事故率の逡減に繋げている。

②関係団体が主催する研修会への参加により、売上げや利益を確保することを重視した支援能力の向上を図った。

- ・創業支援研修(中小企業支援協議会)：平成 30 年 7 月 11 日(水)
- ・事業承継支援スキルアップ研修会(事業承継支援ネットワーク)：平成 30 年 10 月 12 日(金)
- ・経営革新計画支援研修会(中小企業支援協議会)：平成 30 年 11 月 13 日(火)
- ・指導員向け販路開拓支援研修会(中小企業基盤整備機構)：平成 30 年 12 月 6 日(木)
- ・支援者向け販路開拓セミナー(FoodExpo 実行委員会)：平成 30 年 12 月 22 日(火)

3. 事業評価及び見直しをするための仕組みに関すること

本計画に記載の事業を実施、進捗状況及び取り組み成果について、以下の方法により評価・検証し、必要に応じて見直しを図る。

(平成 30 年度の具体的な取り組み)

- ①有識者である専門家及び福岡県、広川町などの外部委員と商工会役職員で組織した「経営発達支援計画評価委員会」を設置し、事業進捗状況及び事業成果等について説明を行い、計画の見直し及び修正について意見を聴取した。
 - ◆経営発達支援計画評価委員会 2 回
 - ・第 1 回経営発達支援計画評価委員会 平成 30 年 8 月 7 日 (火) 開催
 - ・第 2 回経営発達支援計画評価委員会 平成 31 年 4 月 9 日 (火) 開催

- ②委員会で聴取した意見に対し、正副会長を含めた連絡会議を設け、最終的な計画の見直し及び計画の変更・修正のうえで報告書を作成し、理事会へ報告し承認を受ける。
 - ◆報告書作成及び理事会で報告

- ③事業の成果・評価・見直しによる計画変更修正等についてホームページで随時公表するとともに通常総代会において報告する。
 - ◆ホームページで公表及び通常総代会で報告(予定)